

クローバー通信

獨協医科大学越谷病院 女性医師支援センター講演会報告

獨協医科大学越谷病院 小林さゆき

平成 25 年 3 月 29 日(金) 獨協越谷病院第 3 会議室にて女性医師支援センター主催の講演会を開催いたしました。獨協医科大学女性医師支援センター長、産科婦人科教授の望月善子先生に「楽しく働き続けるために ～医師の WLB(ワーク・ライフ・バランス)を考える」という演題で講話を拝聴しました。

世界の中の日本人女性の社会的位置、日本における男女間の意識の違いなどグローバルな視点から始まり、2年前から本学医学部で行っている講義(男女共同参画とワークライフバランス)後の学生に対するアンケート調査結果より、男女が共に働くことについて幼少時から考える機会が必要であることを示されました。そして、女性医師として楽しく働き続けるためには環境の整備、科学者としての責任と誇り、周囲の理解(感謝の心とコミュニケーション)の3つが大切であり、2つ目についてはプロ意識と覚悟と誇りを持って最大限の努力をするという自分自身の意思力の重要性も話されました。また、ワーク・ライフ・バランスはいかに上手く時間を使い1日を過ごすかということでもあり、ワーク・タイム・バランスとも言い換えられると、先生の1日のタイムスケジュールを示され、タイムバランスのすばらしさに目を見張りました。

今回の内容は医療の現場で働くすべての方々に共通したテーマでもあり、女性医師だけでなく、看護師、薬剤師等約 50 名の参加をいただき、大盛況のうちに閉会いたしました。今後、多方面からの必要な支援をうけてイキイキがなされるよう協働していきたいと思えます。

ガイダンスの報告

4 月 8 日(月)、初期臨床研修医オリエンテーションのひとつをいただき、少しでも安心してスムーズに研修が始められるようにとの願いをこめて女性医師支援センターから就労支援のためのガイダンスを行いました。

望月センター長から、まず当院で研修を始めた新卒者 39 名(男性 25 名、女性 14 名)に対しおめでとうの祝福の言葉があり、女性医師支援センターの利用の仕方とやすらぎの空間クローバーの紹介がありました。そして、時にはゆっくりでもいいからストップすることなく医師としてのキャリアを継続してほしいとエールを贈りました。続いてコーディネーターの前澤先生から、昨年 11 月に当センターで作成した「医師のためのワークライフガイドブック」をもとにした勤務に関わる制度等について、最後にコーディネーターの坪井先生から定期的で開催しているクローバー交流会の紹介がありました。

これから獨協医科大学の将来を背負っていくであろう研修医の先生たちが「働きやすい」と実感できる職場になるように、これからもセンターの役割を果たしていきたいと思えます。

(文責:望月・山本)



第6回 クローバー交流会のおしらせ

5月22日(水) 18:00~19:30 クローバーにて

ロールモデル紹介 <第二外科>磯 幸博 先生 <呼吸器・アレルギー内科>大和田 高義 先生

※ 軽食を用意して、みなさまをお待ちしています。

問い合わせ先

女性医師支援センター(内線3486)

✉ E-mail clover@dokkyomed.ac.jp